



2025年12月25日

日本鉄道労働組合連合会

鉄構労との意見交換を実施！

12月23日、JR連合は、鉄道運輸機構労働組合(鉄構労)の中央執行部7名と意見交換を行った。鉄構労は、10月にJR連合へ加盟しており、加盟後初めての意見交換となった。

鉄構労は、新幹線建設や在来線の新線整備等の事業に携わる「鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)」の仲間が集う労働組合であり、交運労協に加盟する仲間でもある。事業の内容からとりわけJR連合との関わりが深く、これまでも整備新幹線計画の推進等をはじめとする産業政策等について、幾度となく意見交換を重ねてきた。



今回の意見交換は、前回9月に実施して以降3カ月ぶりの開催となったが、その間に生じた新幹線建設をめぐる様々な課題、具体的には、北陸新幹線敦賀以西ルートに係る課題や、財政制度等審議会において取り上げられている貸付料に関する考え方などについて、意見を交わした。



鉄構労とともに策定した「提言」

引き続き、「高速鉄道・新幹線ネットワークを拡充することが、国土の均衡ある持続的な発展につながり、地域・社会の発展に寄与していく」という考えに基づき、2023年2月に共同で策定した「地域活性・発展の礎となる鉄道網の構築を目指して～高速鉄道・新幹線ネットワークの構築と計画推進に係る政策提言～」を深度化し、関係各所への実効性のある働きかけを行うことで、高速鉄道・新幹線ネットワーク構築にむけて邁進する決意を新たにした。